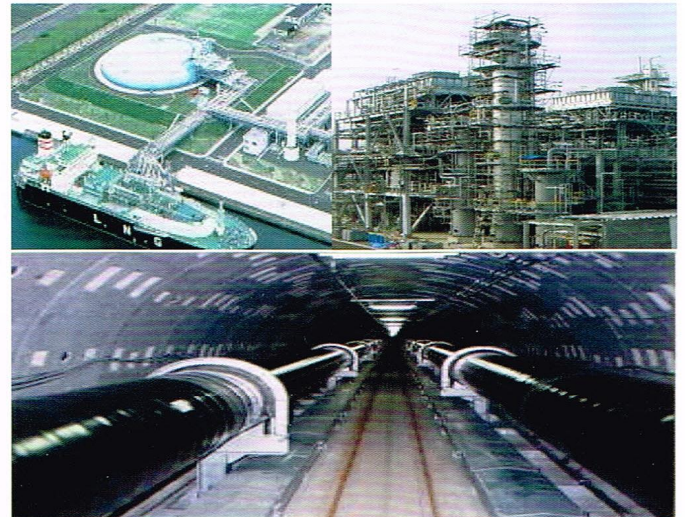
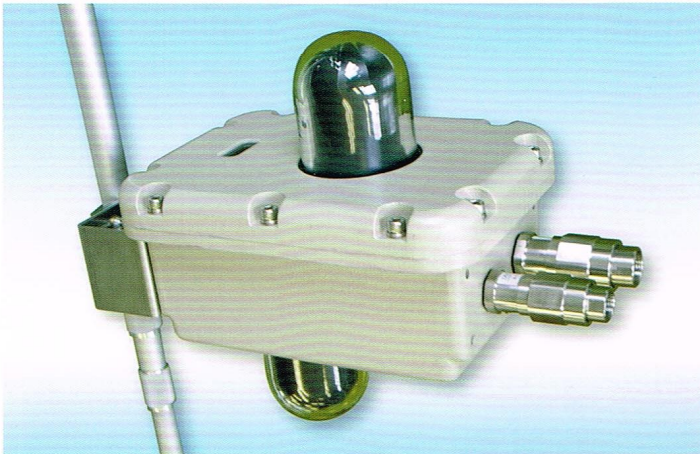


LANEX[®] - AP0200

爆発性ガス雰囲気のある危険場所(防爆エリア)で、安全・安心に使用可能な無線LANアクセスポイント

防爆型無線LANシステムは、ガス、石油化学、化学薬品工場等に存在する防爆エリアへの適用/設置が可能な無線LANシステムです。防爆型のPDAやIPカメラと組み合わせれば、設備運転データや映像の監視も行う事ができます。さらに、防爆型IP携帯電話との組み合わせにより防爆エリアにて通話が可能となります。指向性/無指向性のアクセスポイントを使い分ける事により、様々なエリア形状に対して最適(ミニマムコスト)なシステムの構築が可能です。



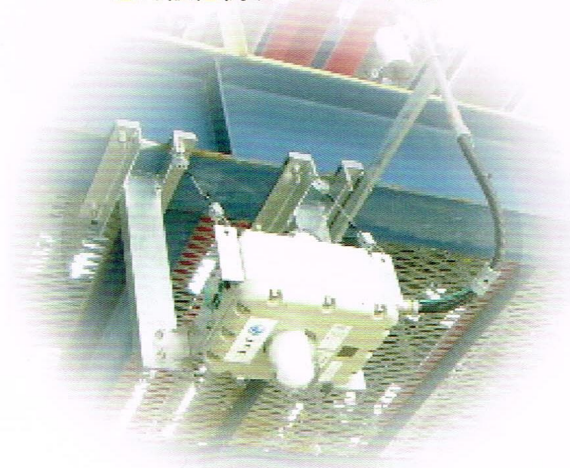
適用が想定される各種プラントエリア

<主な特徴>

各種等級	防爆等級: Exd II + H2BT4 保護等級: IP54相当
無線LAN	IEEE802.11g/b に準拠 (2.4GHz帯)
セキュリティ	各種セキュリティ機能(WPA2-PSK、WPA-PSK、MACフィルタリング等)をサポート
主な特徴	水素防爆エリア、又は粉塵防爆エリアにも対応可能 POE給電が可能 タグVLAN(仮想的なネットワークグループ)の設定可 アクセスポイントからの送信出力可変(3段階)対応可能 アクセスポイント間での無線通信接続が可能
通信距離 ^{注1}	屋外: 約250m(但し、IP携帯電話による通話の場合は約200m)

注1: 無線通信距離は、アクセスポイントが設置される環境により異なります。(詳細は現地調査実施要)

屋外設置例(サンシェード無)



屋外設置例(サンシェード有)

